

ふくおかのふくし

9月号
2011.129号

特集

笑顔咲く福祉のまちづくりをめざして
～赤い羽根共同募金運動がはじまります～

(9月17日障がい児・者のふれあいバーベキュー レクリエーション《糸島市》)

- 人とのつながり支え合う喜びを実感 高校生介護等体験特別事業
- 被災地のために全力を ～県内市町村社協職員 福島県へ～
- 「社協」の強みを活かした福祉活動をめざして
平成23年度市区町村社協会長・常務理事・事務局長研修会開催
- 障害者総合福祉法改革への新しい第一歩 ～活発な議論を展開～
- 第11回福岡県ねんりんスポーツ・文化祭開催
- 平成23年福岡県社会福祉大会開催案内

笑顔咲く

福祉のまちづくりをめざして

～赤い羽根共同募金運動がはじまります～



平成23年度一般募金目標額：666,478,357円

赤い羽根共同募金運動は、民間社会福祉事業を支援することを目的として、住民主体の自主的な活動として、戦後直後の1947年に全国一斉にスタートしました。

共同募金はその時々の福祉課題の解決のために活用しており、現在は、高齢者の生きがいづくり活動、子育て支援活動、地域での見守り活動などの地域で暮らすみんなを“笑顔”にする活動、大規模災害時のボランティア活動を支援するための積立金などに使われています。

共同募金運動は、各地域の実情に合わせた配分を行うため、各都道府県を単位として行われており、寄せられた共同募金の約75%は、募金いただいた各市町村の身近な地域福祉活動に、約25%は、福岡県全域を対象にした広域の福祉団体や福祉施設の支援、災害時に備えた積立金等に使われています。

県民一人ひとりが幸福を感じる心豊かな社会の実現のため、赤い羽根共同募金運動に、あたたかいご支援、ご協力をよろしくお願いします。



これまでに共同募金の配分を受けた施設・団体から寄せられた多くの喜びの声から、その一部を紹介いたします。

スタッフの力が子どもたちを支えています
おもちゃ図書館のおがた (直方市)



おもちゃ図書館のおがたでは、心身に障害や発達遅延のある児童の成長とその家庭を支援するために、おもちゃの貸し出しや遊びの場所を提供しており、直方市社協がその運営をサポートしています。

おもちゃ図書館のスタッフは、直方市社協の研修や、広報により集まったメンバーを中心に結成され、「自分たちの力を地域の子どもたちに」と、平成19年7月から手づくりのおもちゃの制作や修理などの活動を開始し、現在は11名のスタッフが活動しています。

図書館には手づくりのおもちゃをはじめ、「日本おもちゃ図書館財団」や住民による寄贈のものもあり、約770点のおもちゃが並び、年間約1200名の子どもたちが通う、温かみのある遊び場になっています。

住	TEL	開	時	料
直方市大字山部616-145 (直方市総合福祉センター内)	0949-23-2551	第2・4火曜日 毎土曜日	10時～12時／13時～15時	無料

主に障害児とその家族、福祉施設を対象にしていますが、誰でも遊べます。必ず保護者同伴でお願いします。

「赤い羽根共同募金 ありがとう」

地域の絆を育んでいます

第2回赤い羽根共同募金杯

校区対抗グラウンドゴルフ大会

& 社協「絆」フェスティバル

(大牟田市)

福岡県共同募金会大牟田市支会と大牟田市社協では、赤い羽根共同募金の普及と啓発、地域住民の絆を深めることを目的に、9月11日に第2回赤い羽根共同募金杯校区対抗グラウンドゴルフ大会&社協「絆」フェスティバルを開催しました。

当日は地域住民など約2,000人が参加し、グラウンドゴルフ大会やフリーマーケット、野外ステージなどを楽しみました。

福岡県共同募金会大牟田市支会と大牟田市社協では、子ども、高齢者、障害者にやさしい大牟田のまちを創造していく取り組みを、地域住民と共にこれからも続けていきます。



毎年仲間に会えるのを 楽しみにしています

障がい児・者の

ふれあいバーベキュー

(糸島市)

糸島市社会福祉協議会は、糸島市の障害児・者とその家族を対象にレクリエーションやバーベキューを通して、地域住民や仲間たちとの交流を図ることを目的に、9月17日に、「障がい児・者のふれあいバーベキュー」を開催しました。

今年で10回目を数え、当日は、約300人が参加し、参加者からは、「毎年楽しみにしています」という声も聞かれ、参加者全員が楽しい時間を過ごしました。



送り迎えや外出に 役立っています

福祉作業所「ぽこ・あ・ぽこ」

(福岡市)

音楽用語で、「ゆっくり、少しずつ」という意味を持つ「ぽこ・あ・ぽこ」は、福岡市南区にある、身体や知的といった重複障がいのある方が活動する事業所です。

作業の時間に作る、ビーズアクセサリーや、押し花、廃油石鹸はバザーなどに出品されています。作品はすべて手作りで、作り手の心が伝わってきます。

「ぽこ・あ・ぽこ」では、平成21年の共同募金配分金の助成をうけ、福祉車両を購入しました。車両は利用者の方の送り迎えや外出時に役立っています。



高校生介護等体験特別事業

人とのつながりを通して喜びを実感

福岡県社協が、平成9年度から実施している「高校生介護等体験特別事業」は、人格形成のうえで重要な時期にある高校生たちに、介護体験を通じて福祉への理解と関心を深めてもらうことを目的としています。



3 年指定事業の最終年度である本年度は、県内 4 つの高等学校から、5 日間で延べ 252 名の生徒が参加しました。生徒たちは、事前研修として、県社協介護実習課が実施する介護講座を受講し、高齢者の身体状況や介護に関する基礎知識について学びました。

高齢者福祉施設での体験活動では、慣れない状況にとまどいながらも利用者と会話したり、施設職員の指導のもと、食事配膳や車イスの介助等を行いました。

また、生徒たちがアイデアを出し合って、折紙でひまわりの花を作り、誕生日会でそれをプレゼントされた利用者が大喜びするという場面も見られました。

参加した高校生からは、「高齢者の視線に合わせた介助が大事だと分かった」「おばあちゃんが、温かい手でたくさん頭をなでてくれて、私を必要としてくれている人がいると思うと心が温かくなっ



た」等、学校教育では学べない、体験活動から得られた感想が出ました。

また、「今後も、ボランティア活動をしたい」「将来、福祉関係の仕事に就きたい」と、これからの生徒たちの進む道に活かされる貴重な体験となりました。

介護講座（1 日）・施設体験（4 日間）の実施状況

学 校 名	体験施設名	施設体験	参加延べ人数
久留米市立南筑高等学校	特別養護老人ホーム山翠園	8月17日(水)～8月20日(土)	48名
福岡県立西田川高等学校	特別養護老人ホーム寿楽園	8月 8日(月)～8月11日(木)	67名
福岡常葉高等学校	特別養護老人ホームちくしの荘	7月30日(土)～8月 6日(土) 8月20日(土) 8月27日(土)	63名
福岡県公立古賀竟成館高等学校	福岡県公立古賀竟成館高等学校	7月26日(火)～29日(金)	74名



被災地のために全力を

福岡県内市町村社協職員 福島県へ

東日本大震災の発生以降、全国の社協から被災地支援のための職員派遣が行われましたが、去る7月6日に、福島県社協、全社協、東京都社協（関東Aブロック）、福岡県社協（九州ブロック）、山形県社協（北海道・東北ブロック）は、福島県総合福祉センターでブロック派遣終了に向けた調整会議を開催しました。

会議では、①福島県内市町村社協の相互支援体制の見直し、②北海道・東北ブロックからの支援、③近隣県からの支援、④（九州ブロックから職員派遣を行っている）いわき市社協の状況について、ブロック派遣の現状や役割、今後のあり方等を協議しました。

その結果、福島県支援に関しては、九州ブロック・関東ブロックAともに、全社協の方針通り、8月末でブ

ロック派遣を終了することを決定しましたが、9月以降は、県外の社協職員の応援が必要な被災社協に対しては、個別に派遣調整をすることとなりました。福岡県社協では、市町村社協に対し、職員派遣に関する意向調査を行いました。

その結果、28市町村社協から57名の職員派遣が可能であるとの回答をいただき、その旨を全社協に報告しました。



派遣に伴う事前説明会
(9月2日 クローバープラザ〈春日市〉)

福岡県から 福島県浪江町社協へ

全国から寄せられた回答を基に、全社協と被災県社協が調整した結果、福岡県は、福島県浪江町社協への支援が決まりました。

浪江町は原発30km圏内に位置しているため、住民は福島市、二本松市、本宮市、桑折町に設置されている仮設住宅に入居しています。現在、浪江町社協では、二本松市に事務所を設置し、これらの4拠点で仮設住宅における支援活動を展開するため、生活支援相談員を雇用しています。

福岡県内社協からの派遣職員は、この生活支援相談員の指導・助言や浪江町社協の全面的な支援にあたります。

第1陣として9月12日に2名が派遣され、順次2～3名の社協職員を12月3日まで継続して派遣する予定です。

浪江町社協の支援の概要は本誌で随時報告します。

第1クール（9月11日～20日）

飯塚市社協 岡本 政孝 氏
大刀洗町社協 池松 昌亀 氏

第2クール（9月18日～27日）

八女市社協 椎窓 一貴 氏
筑紫野市社協 益永 秀二 氏

第3クール（9月25日～10月4日）

筑紫野市社協 川上 尚計 氏
宮若市社協 西中 公一 氏

問合せ先

福岡県社会福祉協議会
地域福祉部 地域課
TEL 092 (584) 3377

「社協」の強みを活かした

福祉活動をめざして

社会福祉施策の動向等社協を取り巻く状況が絶えず変化し、社協の必要性・存在意義が問われているなか、「社協の特性や強みを活かして何ができるのか」「社協のあり方」等について共通認識を図り、また未曾有の被害をもたらした東日本大震災を教訓として、災害時の社協の役割を再認識することを目的に平成23年度市区町村社協会長・常任理事・事務局長研修会を8月2日・3日に朝倉市（ホテルパールネス小野屋）で55市区町村社協110名の参加を得て、開催しました。

日頃からの地域活動計画づくり

1日目は本会が5月に市区町村社協を対象に実施した個別台帳調査結果の報告及び九州ブロックが支援を行った福島県内の災害ボランティア

センターの状況等についての報告を行いました。

午後からは「地域福祉の主流化のなかでの社会福祉協議会の役割」と題し、東京大学大学院 社会研究室 武川 正吾 教授に講演をいただきました。武川教授は「東日本大震災の中で、日頃から地域福祉活動計画づくりやサロン活動などの住民参加を実践してきたところは、対応が早かった。また社会福祉法の中に『地



東京大学 大学院
教授 武川 正吾 氏

域福祉の推進』が盛り込まれたことにより、地域福祉への共通認識がようやく成立し、そのような中で地域福祉は新たな段階に入り、社協への役割への期待がますます高まっています」と話されました。

地域との連携強化

2日目の実践報告では飯塚市社協の有吉事務局長から災害時における社協と行政の連携について、平成20年に起きた商店街火災での災害ボランティアセンターの立ち上げを例に、災害時におけるボランティア活動に関する市との協定など、災害時には社協が単独で動くのではなく、市や関係機関、団体と連携しながら対応することの重要性について報告い



飯塚市社会福祉協議会
事務局長 有吉 隆 氏

いただきました。

春日市社協軽部地域福祉課長から安心生活創造事業の取り組みについて、65歳以上の一人暮らし高齢者世帯の生活状況の把握やニーズ把握について、災害を切り口として社協職員が地域に入り、地域支え合いマップづくりを進めており、事業成果については、市、地域包括支援センター・社協で情報共有化が進めることができたことや民生委員と連携することとさらに信頼関係が深まり、高齢者への訪問活動が強化につながった点について報告いただきました。

グループ協議では社協のあり方や災害時の社協の動きについて、活発に情報交換・意見交換が行われ、有意義な2日間となりました。



春日市社会福祉協議会
地域福祉課長 軽部 雅子 氏

障害者総合福祉法 改革への新しい第一歩

～活発な議論を展開～

第30回（平成23年）九州身体障害児者施設研究大会が、『新たな道標を見据えて』～障害者の権利と求められる障害福祉サービスとは～をテーマに、9月8日（木）、9日（金）の2日間、九州各県から約360名余の参加を得て、福岡市のホテルセントラーザ博多で開催されました。

開会式典では、日野博愛福岡県身体障害者施設協議会会長（全国身体障害者施設協議会会長）の開会挨拶に始まり、主催者あいさつを江口司九社連身体障害児者施設協議会会長が行いました。

その後、永年、身体障害児者施設業務に従事し、貢献された方々98名に対し、九州社会福祉協議会連合会会長表彰の表彰式が行われ、感謝状が授与されました。



基調講演 東 俊裕 氏

被表彰者代表謝辞では、小富士園（福岡県）の中島信雄さんが「受賞を励みに更なる自己の向上を目指していきます」との力強いあいさつを行いました。

基調講演では、内閣府障がい者制度改革推進会議 担当室長 東俊裕氏が、「障害者施策の動向について」と題し、障害者基本法改正と、去る8月30日の「障害者総合福祉法の骨格に関する総合福祉部会」の提言内容等について講演されました。

その後、参加者は①「障害者支援施設の機能と今後の役割」、②「利用者を中心とした個別支援計画」、③「施設・地域支援における医療的ケア」、④「就労環境の現状と課題」のテーマ別4分科会で、意見発表を聞き、盛んに質疑応答がなされ、活発なグループ討議が行われました。

2日目の記念講演では、福岡ソフトバンクホークス 編成・育成部の永井智浩氏（元ダイエーホークス投手）に「プロとして生きる～プロ野球選手の人材育成者として～」と題して、社会福祉施設と、プロ野球界に通ずる、人材育成、組織としてのあり方等について講演をいただきました。



記念講演 永井 智浩 氏

NTTドコモのMC基金から 寄付金をいただきました

NTTドコモグループ9社では、二十一世紀のマルチメディア社会において情報通信の発展とともに豊かで健全な社会の実を寄与するため、NPO法人モバイルコミュニケーション・フアンド（MC基金）を創設しています。

福岡県社会福祉協議会は、MC基金の事業の一つである「社会福祉団体への経済的支援活動」において50万円を寄付いただきました。去る9月15日に行われた贈呈式で、NTTドコモ九州支社福岡支店長古金賢正様から福岡県社会福祉協議会富安節子常務理事に目録が贈呈されました。

この度、寄付いただきました財は、県内の社会福祉推進のため有効に活用させていただきます。



9月15日に行われた贈呈式
NTTドコモ九州支社福岡支店長古金賢正様（左）
福岡県社会福祉協議会富安節子常務理事（右）

音楽イベント 11月20日(日)

合唱フェスティバル

13:00～14:00

イヅカコスモスコモン大ホール

日本国際童謡館館長 大庭照子さんも参加！
オーケストラとねんりん合唱団による美声を
ご覧ください。



民謡コンクール

12:30～16:00

イヅカコスモスコモン中ホール

歌い継がれてきた民謡に
心かよわせ、感動してください。



11月19日(土)～20日(日) 開催のイベント

ふれあい市場

地元名産品や模擬店が大集合！

東日本復興おうえん市場

東北地方の名産品が大集合！

おじいちゃん・おばあちゃんの絵コンクール

県内の小学生が描いた自慢の「おじいちゃん・おばあちゃんの絵」を展示。

シニア美術展

個性あふれる力強い作品が感動を与えます。

地域文化伝承コーナー

折り紙や竹細工など昔懐かしい手作りの文化を再発見。

スポーツレクリエーション体験コーナー

子どもから高齢者まで幅広く楽しめるニュースポーツを体験してください。

健康福祉コーナー

あなたの健康状態をチェック！健康相談も行います。

絵手紙体験コーナー

一枚の絵手紙に想いを込めて…。心温まる絵手紙に出会えます。

俳句・短歌交流大会

本年度の優秀作品を展示。

ふくすくキッズ

絵本のよみきかせ、遊具コーナーなど、サロン情報も紹介します。



問い合わせ先

福岡県ねんりんスポーツ・文化祭実行委員会事務局

(福岡県社会福祉協議会 地域福祉部 生きがいづくり課)

TEL 092-584-1401 FAX 092-584-3794



はつらつとした高齢社会を築く

第11回福岡県ねんりんスポーツ・文化祭開催

11月19日(土)・20日(日) イヅカコスモスコモンほか **入場無料**



本大会は、高齢者のスポーツ・文化活動を通じた生きがいづくり、健康づくり、仲間づくりを積極的に支援し、はつらつとした高齢社会を築くことを目的に平成13年度から開催しています。

第11回目となる今回は、平成23年11月19日(土)から20日(日)の2日間にわたり、飯塚市のイヅカコスモスコモンを主会場に筑豊地域で開催いたします。

当日はファッションショー、ふれあい市場、合唱フェスティバル、民謡コンクールなど多彩な文化イベントを開催します。多くの皆様のご来場を心からお待ちしております。

11月19日(土) 開催イベント

総合開会式・記念講演

13:00~15:10
イヅカコスモスコモン大ホール

- オープニングアトラクション
直方市老人クラブ連合会による
直方日若踊(福岡県指定無形民俗文化財)

○総合開会式

○記念講演

講師 野球解説者 タレント

板東 英二 氏

演題「板東英二のがむしゃら人生」



ねんりんファッションショー

15:30~16:30
イヅカコスモスコモン展示ホール

テーマ

「元気ふくおか『その秘訣はオシャレ』!!」

県内各地のオシャレ好きで元気な高齢者が集まり華やかなファッションショーを繰り広げます。



第10回ねんりんファッションショー
最優秀賞 中山 スイ子氏

社会福祉法制定60周年記念

平成二十三年 福岡県社会福祉大会開催案内

福岡県社会福祉協議会、福岡県共同募金会は、平成23年10月21日に、春日市のクローバープラザで、「平成23年福岡県社会福祉大会」を開催します。

大会趣旨

厳しい社会・経済情勢が続く地域では住民の生活課題が多様化し、従来の福祉制度だけでは対応することが困難な状況となっています。

さらに、東日本大震災という未曾有の大災害に直面した今、改めて、官民一体となった地域における新たな支えあいの仕組みの構築が急務の課題となっています。

一方で、国民の生活基盤を支える社会保障・社会福祉の制度・施策は、その財源問題や地方分権・地域主権の流れと相俟って大きく見直されようとしており、私たち社会福祉関係者にとっても、その対応が重要な局面を迎えています。

このようなときこそ、社会福祉関係者はこれまでの経験と成果を踏まえ、その時々々の課題に的確に対応していくことで、その存在意義を示すとともに、誰もが心豊かに安心して暮らせる地域コミュニティづくりの中核としての役割を果たすことが肝要です。

本大会は、昭和26年に制定された社会福祉事業法（平成12年、社会福祉法に改正）の60周年という節目の年にあたり、社会福祉を取り巻く情勢を踏まえ、改めて社会福祉関係者に求められる基本的な視点を確認するとともに、連帯して地域の課題解決に積極的に取り組んでいく契機として開催します。

問い合わせ先

福岡県社会福祉協議会

総務部 総務課

TEL 092 (584) 3377

記念講演に

猪熊 律子 氏

（読売新聞東京本社 社会保障部次長）

猪熊律子氏は、昭和60年に読売新聞社に入社後、岩手県盛岡支局、婦人部、生活情報部などを経て、平成12年3月から社会保障部記者として活躍されました。主に、年金、介護、少子化などの社会保障問題をご担当され、平成16年10月から現職に就かれています。

また、社会保障問題をテーマとした講演会やシンポジウムへの多数出演に加え、全国社会福祉協議会発行の「月刊福祉」の編集委員としても活躍されています。

当日は、「これからの社会保障と社会福祉関係者に求められる役割」と題し、講演いただきます。



読売新聞東京本社 社会保障部次長 猪熊 律子 氏

大会スケジュール

○日 時	10月21日（金）13時から15時30分
○会 場	クローバープラザ アリーナ棟 大ホール（春日市原町3丁目1番地7）
○日 程	
13:00	開会（受付 12時）
13:05	記念講演 「これからの社会保障と社会福祉関係者に求められる役割」 読売新聞東京本社 社会保障部次長 猪熊 律子 氏
14:15	休憩
14:30	総会・式典
15:30	閉会

福岡県社会福祉協議会理事・監事・評議員の改選について

福岡県社会福祉協議会の役員・評議員の任期満了に伴う改選が、去る8月30日開催の第247回理事会並びに第147回評議員会において行われ、9月2日からの新役員・評議員として下記の方々を選任されました。

福岡県社会福祉協議会役員・評議員名簿

任期 平成23年9月2日から
平成25年9月1日まで

顧問

役職名	氏名	所 属
顧 問	小川 洋	福岡県知事
〃	原口 剣生	福岡県議会議長

理 事

役職名	氏名	所 属	役員の区分
理事(会 長)	平山 良明	西部ガス株式会社相談役	3号理事
理事(副会長)	名和田 新	福岡県立大学学長	3号理事
〃	原 嘉伸	福岡県老人福祉施設協議会会長	1号理事
〃	芳賀 晟壽	北九州市社会福祉協議会会長	2号理事
〃	江頭 貞元	飯塚市社会福祉協議会会長	2号理事
理 事	日野 博愛	福岡県身体障害者施設協議会会長	1号理事
〃	万田 康	福岡県保育協議会副会長	1号理事
〃	森田 公一	福岡県社会福祉施設経営者協議会会長	1号理事
〃	執行 利孝	福岡県民生委員児童委員協議会会長	1号理事
〃	松永 千之	福岡県身体障害者福祉協合理事長	1号理事
〃	山崎 吉春	福岡県老人クラブ連合会会長	1号理事
〃	山崎 安則	福岡県ボランティアセンター運営委員会委員長	1号理事
〃	本田 正寛	福岡市社会福祉協議会会長	2号理事
〃	福本 義雄	宗像市社会福祉協議会会長	2号理事
〃	花田 兎一	篠栗町社会福祉協議会会長	2号理事
〃	川地東洋男	久留米市社会福祉協議会会長	2号理事
〃	境 洋一	大木町社会福祉協議会会長	2号理事
〃	松尾 徹	鞍手町社会福祉協議会会長	2号理事
〃	服部誠太郎	福岡県福祉労働部部長	3号理事
〃	松田 重徳	元福岡県社会福祉協議会常務理事	3号理事
理事(常務理事)	富安 節子	福岡県共募・センター常務理事	3号理事
監 事	吉岡 正憲	福岡県済生会常務理事	
〃	河内 信行	西日本新聞民生事業団事務局長	
〃	南里 勝利	福岡商工会議所常務理事	

評議員名簿

役職名	氏名	所 属
1号評議員	平田ルリ子	福岡県乳児院協議会会長
〃	西田 稔夫	福岡県児童養護施設協議会会長
〃	渡辺 英秋	福岡県母子生活支援施設協議会会長
〃	小峠 繁	福岡県知的障害施設協議会会長
〃	和田 徳行	福岡県婦人保護・救護施設協議会会長
〃	藤田 君子	福岡県母子寡婦福祉連合理事長
〃	赤木 睦男	福岡県里親会会長
〃	古賀 和広	福岡県ボランティアセンター運営委員会副委員長

役職名	氏名	所 属
2号評議員	宮原 深海	門司区社会福祉協議会会長
〃	加藤美佐子	戸畑区社会福祉協議会会長
〃	青木 武	東区社会福祉協議会会長
〃	角 博美	西区社会福祉協議会会長
〃	小林 俊児	筑紫野市社会福祉協議会会長
〃	金堂 正芳	春日市社会福祉協議会会長
〃	松島 幹彦	太宰府市社会福祉協議会会長
〃	近藤 清志	古賀市社会福祉協議会会長
〃	力丸 司郎	福津市社会福祉協議会会長
〃	高橋 行男	那珂川町社会福祉協議会会長
〃	八尋 利美	筑前町社会福祉協議会会長
〃	西村 直	大牟田市社会福祉協議会会長
〃	田島 隆義	柳川市社会福祉協議会会長
〃	田中 瑞廣	筑後市社会福祉協議会会長
〃	金子 次男	大川市社会福祉協議会会長
〃	坂手 進	うきは市社会福祉協議会会長
〃	生清 純	みやま市社会福祉協議会会長
〃	柳 好	大刀洗町社会福祉協議会会長
〃	山中 敏弘	豊前市社会福祉協議会会長
〃	山口 隆人	中間市社会福祉協議会会長
〃	古野 満男	宮若市社会福祉協議会会長
〃	村上 曙生	嘉麻市社会福祉協議会会長
〃	松田 貢二	水巻町社会福祉協議会会長
〃	白石 勝彦	福智町社会福祉協議会会長
〃	梅本 正	みやこ町社会福祉協議会会長
3号評議員	眞部 利應	九州電力株式会社代表取締役社長
〃	永守 良孝	RKB毎日放送株式会社代表取締役社長
〃	清水 晃	株式会社西日本新聞社相談役
〃	進藤 宗洋	福岡大学名誉教授
〃	松田峻一良	福岡県医師会会長
〃	吉村 敏幸	福岡県弁護士会会長
〃	南里 辰己	福岡県町村会会長
〃	岡田 弘明	日本赤十字社福岡県支部事務局長
〃	宮崎 親	福岡県保健福祉環境事務所代表
〃	木下 幸子	福岡県地域婦人会連絡協議会会長

- 1号理事・評議員
公私社会福祉事業施設及び団体並びに民生委員児童委員等
社会福祉奉仕者又はその代表者
- 2号理事・評議員
市、区、町、村社会福祉協議会の代表者
- 3号理事・評議員
社会福祉関係公務員及び団体並びに学識経験者

高齢者サークル紹介（ゲートボール）

その一球に思いを込めて

今回は、ゲートボールの紹介です。去る8月18日（木）春日スポーツセンターグラウンドにて、ゲートボールJ A大会が行われました。夏の炎天下の中、春日市内の10チームが出場しました。

競技は頭脳戦

お話を伺ったのは、春日大谷チームの一員である村上泉さん（79歳男性）です。村上さんは、福岡県ゲートボール連合理事協議審判担当、中部支部支部長でもあります。ゲートボールは、退職後に友人に勧められて始めました。

村上さんは、脳の活性化のために、競技中に意識していることがあるそうです。それは、打った球の番号と位置を正確に覚えるということです。ゲートボールは、5人1組の2チーム対抗で行います。球は、1チーム5球使います。相手チームのものと同合わせたら合計10球の球の番号と位置を覚えておくことは、容易ではありません。また、球は競技が



集中してねらいを定めます。



進む度に場所が変わるのです。まさにゲートボールは頭脳戦なのかもしれません。村上さんは、体だけでなく、意識して脳も鍛えてあるので、

協調性も大切に

心身ともに若々しく見える方だなと感じました。そんな村上さんに今後の目標を伺いますと、90歳までゲートボールをすること、いつか福岡でゲートボールの世界大会をしたいということでした。

春日大谷チームは現在7名で、平均年齢は74歳です。毎日、春日大谷小学校校庭にて練習をしています。

この日、J A大会に出場されていた清高サチヨさん（85歳女性）は、平日の午前中は毎日ゲートボールの練習をされています。一緒に住んでいるお嫁さんからも「お母さんがゲートボールに行かなかったら心配だから、頑張って練習に行ってくださいね。」と毎朝見送っていたそうです。何事もやり始めたところとことんやる」という清高さんは、審判の資格も取得されました。思い出に残る試合は、世界大会に2回出たことだそうです。去年の韓国・台湾・日本の交流大会では選手宣誓もされました。

した。

ゲートボールは、「競技としてはビリヤード、作戦としては囲碁将棋」と他のスポーツに例えて、表現してくれたのが印象的でした。

清高さんは、過去2回、熱中症で病院へ運ばれました。それ以来こまめに水分を補給すること、首と脇の下に保冷剤を貼ること、塩あめなどを食べて塩分補給をすることなど一日でも長くゲートボールができるように健康管理に気を配ってあります。

最後に、「ゲートボールは、5人で助け合う競技なので、協調性が必要とされる競技です。その点、人生と一緒にですね。」とお話されました。



笑顔がにこやかな清高さん

高齢者サークルに関する問合せ先

（サークル取材も承ります）

地域福祉部 生きがいづくり課

TEL (092) 584-1401

Q 認知症の祖母の在宅介護において、 家族で介護をするポイントを教えてください。

認知症の義母の在宅介護をして、今年で5年目になります。私の家族は4人家族ですが、家族の仕事の関係で、日中は私が一人で義母の介護をしている状況です。休みの日などは、家族が交替で介護にあたりますが、最近はいつまで続くか解らない介護に気持ちが辛くなり、精神的に負担に思うことが多くなりはじめました。義母と喧嘩をする機会も増え、家庭内が暗い雰囲気になることもあります。これからも家族で協力し合い、義母の介護を頑張っていこうと思います。家族で介護するときのポイントがあれば教えてください。

A 少しずつ力を出し合い役割分担を

介護は一人で抱え込むとうまくいきません。介護にあたる家族や周囲の人は、一人で孤立しないようにし、なるべく多くの人が少しずつ力を出し合って役割を分担し、一人の人に大きな負担がかからないようにすることが大切です。

また、デイサービスなどを上手に使う、息抜きの時間を意識的に作り、自らリフレッシュするように心がけてください。公的サービスや相談機関を利用することで、介護者自身も相談相手と出会うことができます。



～認知症介護体験談紹介～

私の家庭も同じように、認知症の祖母を在宅で7年間介護してきました（30歳男性）。毎日の食事や排泄介助に加え、昼夜逆転による徘徊など、相談者と同じように、いつまで続くか解らない介護に不安を感じていました。そんな中、母が体調を崩し、自宅の近所に認知症グループホームが開所されたこともあり、祖母の入居を希望しました。

グループホームは認知症の方が、穏やかに過ごせる環境が整えられており、祖母も認知症特有の問題行動が少なくなり、精神面の安定が伺えます。また、食事の準備や掃除・洗濯をスタッフと一緒にやる事ができ、日常生活をスタッフの助けを得ながらできる事が祖母にとっての「楽しみ」であり、「リハビリ」になっているようです。

在宅で介護していた時には見られなかった祖母の穏やかな笑顔を見ると、認知症が進行するにつれ「自分はもうどうなってしまうのだろうか」という恐怖心や、「当たり前のようにできていたことができなくなる」という不安を抱えていたのかもしれないと、認知症の祖母の気持ちを理解しようと心がけるようになりました。

今では、祖母も含め家族全員がそれぞれの時間を大切に、「認知症」とうまく付き合うことができています。

認知症電話相談（高齢者総合相談事業）についてのご案内

認知症予防に関する質問、認知症の症状、介護の仕方等に関する相談、家族介護における心構えや具体的な接し方、介護疲れや悩みの相談などお気軽にご相談ください。

- 問 合 せ 先 福岡県社会福祉協議会 TEL 092-584-3317
- 担当相談員 介護経験者（認知症の人と家族の会福岡県支部）
相 談 日 火曜日、金曜日 相 談 時 間 10:00～16:00
- 担当相談員 保 健 師（福岡県在宅保健師若草会）
相 談 日 木曜日、土曜日 相 談 時 間 10:00～16:00

お知らせ掲示板

10月から12月までの
行事予定等を紹介します

東日本大震災の被災者の皆様へ
福岡県における就職支援のご案内

生活福祉資金貸付（福祉資金
（生活復興支援資金）のご案内

福岡県社会福祉協議会では、東日本
大震災により被災した低所得者に対し
て、当面の生活に必要な経費等を貸付け、
生活の復興を支援するため、生活福祉資
金貸付制度に新たに生活復興支援資金

を設け、相談受付を行っています。

貸付対象者

東日本大震災により被災した低所
得世帯（被災したことにより低所得
世帯となった場合も含む）

資金種類

- ① 一時生活支援費
生活の復興の際に必要な経費
 - ② 生活再建費
住宅の移転費、家具什器費等の購
入に必要な経費
 - ③ 住宅補修費
住宅補修等に必要な費用
- ※それぞれの詳細は事務局までお問
い合わせください。

持参いただくもの

健康保険証、運転免許証、課税（非
課税）証明書、源泉徴収票、り災証
明書、被災証明書、
生活再建費を申し込む際の見積書
親戚・知人宅に避難されている場合
は、親戚・知人の健康保険証、運転
免許証等。

〈申込先・問合せ先〉

申込先
避難先の最寄りの市区町村社会福
祉協議会
資金に関する問合せ先
福岡県社会福祉協議会
生活福祉資金課
Tel 092（584）3377

平成23年度子育て支援研修会 子育て支援にかたろう

目的

子育て支援者が、子育て中のお母
さん・お父さんが抱えている不安や
悩み、必要としている支援を知るこ
とで、自分たちの活動を振り返り、
今後の支援活動の充実につなげるこ
とを目的に開催します。

主催

社会福祉法人 福岡県社会福祉協議会

協賛

株式会社NTTドコモ
（NPO法人モバイル・コミュニ
ケーション・ファンド）

期日・会場

平成23年11月1日
10時から15時
クローバープラザ
（春日市原町3-1-7）
508研修室

対象者

県内で子育てサロン活動など地域の
子育て支援に関わる方
子育て支援に関心のある方
市区町村社協職員、市区町村職員、
民生委員児童委員、主任児童委員
子育て中の方等

内容

・講演
子育て中のお母さん・お父さん
の不安や悩みなどの事例を踏ま
え、今後必要となる子育て支援活
動について学びます。

演題

「親子が集まる現場から」
（子育て支援者へのメッセージ）（仮題）

講師

NPO法人びーのびーの
理事長 奥山 千鶴子 氏
・実践報告
報告者
ママ&シェア

代表 菅原 聡美 氏

親育ち支援の会ポトフ

代表 隈部 泰子 氏

定員 100名

参加費 無料

申込方法

下記事務局までお問い合わせください。
申込みは、平成23年10月25日まで
にお願いします。

〈問合せ・申込先〉

福岡県社会福祉協議会
地域福祉部
子育て支援事業推進室
Tel 092（584）3785



社会福祉施設総合損害補償

しせつの損害補償

迅速で丁寧、
かつ適正な
お支払い!!

社会福祉施設の事故・紛争
円満解決のために

プラン1 施設業務のための補償

(賠償責任保険、普通傷害保険、財産総合保険)

①基本補償

▶補償金額

	基本補償(A型)	見舞費用付補償(B型)
賠償事故に対応		
対人賠償(1名・1事故)	2億円・10億円	2億円・10億円
対物賠償(1事故)	2,000万円	2,000万円
受託・管理財物賠償(期間中)	200万円	200万円
うち現金補償限度額(期間中)	20万円	20万円
人格権侵害(期間中)	1,000万円	1,000万円
身体・財物の損壊を伴わない経済的損失(期間中)	1,000万円	1,000万円
お見舞い等の各種費用		
初期対応費用(期間中)	500万円	500万円
事故初期見舞費用(1名につき)	死亡 10万円 入院時 3万円 通院時 1万円 (1事故で10万円限度)	死亡 10万円 入院時 3万円 通院時 1万円 (1事故で10万円限度)
利用者傷害死亡事故弔慰金		死亡(重度後遺障害) 100万円(75~100%)
利用者傷害事故見舞費用		死亡時 100万円 入院時 1.5~7万円 通院時 1~3.5万円

▶年額保険料(掛金)

●基本補償(A型)

保険期間1年補償級別A級

定員	基本補償(A型)
1~50名	33,000~59,400円
51~100名	66,000~94,200円
101~150名	96,000~103,200円
151~200名	104,700~110,700円
以降1名~10名増ごと	1,500円

●見舞費用付補償(B型)

基本補償(A型) 保険料	+	【見舞費用加算】 定員1名あたり 入所: 1,400円 通所: 1,500円
-----------------	---	---

●オプション1 ●訪問・相談等サービス補償

●オプション2 ●施設の医療事故補償

②個人情報漏えい対応補償

施設の利用者の個人情報が一斉漏えいし、施設(法人)に
法律上の賠償責任が発生した場合の損害賠償金等を補償

③施設の什器・備品損害補償

- 施設内の什器・備品を幅広い範囲で補償
- 施設の現金等も補償

プラン2 施設利用者のための補償

(普通傷害保険)

①入所型施設利用者の傷害事故補償

②通所型施設利用者の傷害事故補償

▶補償金額

(10口まで加入できます)

	1口あたりの補償額
死亡保険金	100万円
後遺障害保険金	死亡保険金額の3~100%
入院保険金(1日あたり)	800円
手術保険金	8,000円・16,000円・32,000円
通院保険金(1日あたり)	500円

▶年額保険料(掛金)

保険期間1年補償級別A級

	定員1人1口あたり
入所型施設利用者	1,410円
通所型施設利用者	960円

③施設送迎車搭乗中の傷害事故補償

施設送迎車に搭乗中のケガに対し、2-①、②の
普通傷害保険や自動車保険などとは関係なく補償

プラン3 施設職員のための補償

(労働災害総合保険、普通傷害保険、約定履行費用保険)

①施設の労災上乗せ補償

②施設職員の傷害事故補償

③施設職員の感染症罹患事故補償

●このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容のお問合せは下記をお願いします。

団体 社会福祉法人
契約者 全国社会福祉協議会

取扱 株式会社 福祉保険サービス
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763
(引受幹事保険会社) 株式会社 損害保険ジャパン (SJJ10-11484, 2011/2/9)

●この保険は全国社会福祉協議会が保険会社と一括して契約を行う団体契約(「賠償責任保険」「普通傷害保険」「労働災害総合保険」「約定履行費用保険」「財産総合保険」)です。

「笑顔咲け!」羽根にたくしたこの思い

…赤い羽根共同募金

赤い羽根共同募金は、自分たちが住む地域の福祉活動、災害時のボランティア活動に使っています。
だから、赤い羽根共同募金は、高齢者、児童、障害者など、地域で暮らすみんなを“笑顔”にします。



災害時のボランティア活動で、
みんなを笑顔に



障害を持った方の移動や就労
を応援して、みんなを笑顔に



地域での子育て活動を応援
して、みんなを笑顔に



社会福祉法人 福岡県共同募金会

春日市原町 3-1-7 クローバープラザ6階
TEL 092-584-3388



運動期間 10月1日～12月31日

共同募金の使いみちは「はねっと」で公開中[<http://www.akaihane.or.jp>]

「東日本大震災 被災地復興応援募金」(義援金)に、ご協力ありがとうございました。

お預かりした義援金は、国が設置した義援金配分割合決定委員会で基準を定め、被災都道府県・被災市区町村を通じて、被災された皆さんの元へ順次お届けしています。
今後も、地域の身近な福祉活動、災害時のボランティア活動を支える共同募金にご協力をお願いします。